



## 各種健(検)診

加入している公的医療保険の種類に関係なく受診できます 国保センター

費用は表のとおり。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険室へ、市民税非課税・生活保護世帯は受診日の2週間前までに保健センターへ申請すれば、いずれも無料です。

保健センターの検診	胃がん検診	1000円	35歳以上。X線検査。	保健センター=3月2日(金)、6日(火)、15日(木)、16日(金)、27日(火)、30日(金)。 北千里市民体育館=3月9日(金)。桃山台市民ホール=3月29日(木)。	いずれも午前9時~10時30分。年に1度、誕生月に限らず受診できます。 ☑郵送かファックス、メールに検診名、希望日、住所、名前、性別、生年月日、年齢、電話番号を書いて保健センターへ☎。2月15日(木)必着。多数の場合は翌月以降になることがあります。案内は検診日の2週間前までに送ります。
	大腸がん検診	300円	40歳以上。便潜血反応検査。		
	肺がん検診	400円	40歳以上。X線検査。喀痰検査は問診・診察の結果、必要な人のみ別途500円。	保健センター=3月6日(火)、15日(木)、16日(金)、27日(火)、30日(金)。	

市内の協力医療機関で受診できる健(検)診	30歳代健康診査	無料	30~39歳。血圧測定、尿検査、血液検査など。	記載のないものは年に1度。誕生月か、その翌月に受診してください。☑直接、協力医療機関へ。	
	成人歯科健康診査		30歳以上。15歳以上の障がい者は通年受診できます。		
	乳がん検診	2年に1度	700円		30~39歳の女性。視触診のみ。3月31日(土)で終了。
	子宮がん検診		1000円		40歳以上の女性で、生まれ年が西暦で偶数年の人。マンモグラフィと視触診。
	大腸がん検診	500円	20歳以上の女性で、生まれ年が西暦で偶数年の人。頸部細胞診。体部細胞診は問診・診察の結果、必要な人のみ別途500円。		
	肺がん検診	65歳以上の人はいずれかを受診	300円		40歳以上。便潜血反応検査。
	結核検診		400円		40歳以上。X線検査。喀痰検査は問診・診察の結果、必要な人のみ別途500円。
	B型・C型肝炎ウイルス検診	無料	65歳以上。X線検査。		40歳以上で、B型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。血液検査。
	前立腺がん検診	700円	50歳以上の男性。血液検査。		
	ペプシノゲン胃検診	5年に1度	300円		昭和28・33・38・43・48・53年生まれの人。血液検査。
	骨粗しょう症検診		1000円		20~70歳で、今年の誕生日で年齢の下1桁の数字が0か5の人。
	聴力検診		500円		昭和23・28・33・38・43年生まれの人。

乳・子宮がん集団検診を3月21日(水・祝)開催の「女性の健康フェスティバル」で実施します。詳しくは15ページへ。協力医療機関の一覧は市報すいた別冊(毎年市報すいた4月号と一緒に配布)と、市ホームページに掲載しています。

## 口腔(こうくう)ケアセンターの催し

無料。☑2月1日(木)から電話かファックスに催し名、住所、名前、年齢、電話番号を書いて同センターへ。

障がい者向け	障がい者(児)のお口のケアとリハビリテーション 口腔の健康度チェックと指導。☑3月15日(木)午後1時30分~3時30分。☑先着10人。
--------	---

## 国保健康診査(特定健診)

☑40~74歳で吹田市国民健康保険の加入者。身体測定、尿検査、血液検査など。無料。対象者には誕生月の前月末に受診票を送ります。誕生月かその翌月に受診できない場合や、昨年4月2日以降の加入者は国民健康保険室へ問い合わせてください。国保以外の保険の加入者は加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。

## 相談

**健康電話相談** 専用電話(保健センター内☎6339・1218)月・水・金曜日午前10時~正午。祝・休日は除く。

**保健栄養相談** 健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。保健師、栄養士が面接相談。予約制。☑電話で保健センターへ。

**不妊治療相談** 予約制。☑2月14日(火)。☑保健センター南千里分館。☑電話で同分館(☎6155・2812☎6831・5705)へ。

## 保健所の検査・相談

☑吹田保健所

予約・日時などは問い合わせてください。

**HIV抗体検査** 匿名可。診断書は発行しません。同保健所で月3回平日に実施。夜間、土・日曜日はchot CASTなんば(地下鉄なんば駅)で実施。

**風しん抗体検査** 妊娠を希望する女性とその夫、妊婦の夫。月2回実施。予約制。

**肝炎ウイルス検査** B型肝炎とC型肝炎。20~39歳で同検査未受診の人。月1回実施。予約制。

**こころの健康相談** 統合失調症や気分障がい、アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症、認知症など。予約制。

**医療相談** 医療機関に関する相談や苦情など。医療機関のある地域の保健所で。電話相談は祝・休日を除く月~金曜日午前9時15分~午後0時15分、午後1時~4時。面談は予約制。

気管支喘息は気道に炎症が続いて刺激に敏感になり、気道が狭くなることを発作的に繰り返す病気です。炎症はアレルギー反応によるものが多くと考えられています。喘息は全ての年齢で発症し、咳や痰が出て、ゼーゼー、ヒューヒューといった音を伴って息苦しくなる発作が特徴です。発作は夜間や早朝に出やすく、特に季節の変わり目の春と秋に症状が悪くなる人が多いです。運動、寒冷刺激、感染、特定の薬の服用、肥満などで悪くなることがあります。

喘息の診断は問診や呼吸機能検査、呼気一酸化窒素測定、喀痰検査、血液検査、胸部X線検査などを行います。喘息は症状が出なくなっても気道の炎症が続いており、また発作が起こります。炎症が続くと気道が固く狭くなり元に戻らなくなるため、炎症を抑える薬を日頃から使うことが大切です。

## ドクターメモ

## 症状が出なくなっても注意を 気管支喘息

炎症を抑える治療の主役は吸入ステロイド薬です。適切に使用すれば副作用は少ないです。重症度に応じて量を調整したり、気管支拡張薬などを追加したりします。アレルギーの原因が分かっている場合はそれらを避けます。また、発作が起こったら即効性のある気管支拡張薬を吸入します。喘息は薬の効きが悪いなどで重症の発作を起こし、命に関わることもあります。薬を使用しても症状が改善しなければ、速やかに医療機関を受診してください。

最後に、通常の治療では発作を抑えることができない難治性のもについては、抗体療法や気管支熱形成術による治療も行われていますので、専門の医療機関で相談してみてください。

※喘息に対する薬の処方については医療機関・かかりつけ医に相談してください。

吹田市医師会 多河 広史